

< 報道関係各位 >



京大病院のアピアランスケアサロン「^{らしく}Rashiku」と併設
ヘアサロン「^{サロン ド ラフラ}Salon de Raфра 京都大学医学部附属病院店」
11 月 2 日 (月) オープン
“憩いの場”を目指し、京大病院とともに患者さまへの情報発信拠点を協創

毛髪・美容・健康・医療のウェルネス事業をグローバル展開する株式会社アデランス（本社：東京都品川区、代表取締役社長 鈴木 洋昌）は、病院内ヘアサロン「Salon de Raфра（サロン ドラフラ） 京都大学医学部附属病院店」を 11 月 2 日（月）に京都大学医学部附属病院（京都市左京区、以下 京大病院）の外来棟地下 1 階にオープンします。同日、京大病院が運営するアピアランスケアサロン「Rashiku（らしく）」も隣接スペースにオープンし、アピアランス※¹に関する複合的な情報発信の拠点として開設します。アピアランスケアサロンと一体になったスペースでのヘアサロン開設は当社初の取組です。

当社は 2002 年より、がん診療拠点病院を含む全国の病院にヘアサロンを出店しており、このたびのオープンで 35 店舗となります。これまで病院内ヘアサロンは「こもれび®」の名称で展開してきましたが、名称を「Salon de Raфра」へと変更し、一号店として出店します。「Raфра（ラフラ）」は 2005 年より医療用ウィッグブランドとしてご愛用いただいておりますが、アピアランスケア商品・ケア需要の高まり、病院内ヘアサロンの拡大等により、「Raфра」を医療関連商品・サービス※² 全体のブランドとして昇華し、病院内ヘアサロンは今後「こもれび®」から「Salon de Raфра」へ生まれ変わる予定です。

このたび、オープンする「Salon de Raфра」では、シャンプーやヘアカットなどの美容施術のほか、医療用ウィッグをはじめとするアピアランスケア商品※² を販売します。「Rashiku」では、複数の企業の医療用ウィッグやコスメなどを多数展示し、患者さまは幅広い選択肢から商品を検討することが可能になります。相談ブースでは、医療従事者による高度で専門的な知見によるアドバイスを受けられます。

京大病院との協働を通じて、アピアランスに関するご相談、商品選びからご購入までがスピーディに、一か所で完結※¹※³ する利便性向上を図ります。そして、外見の変化に直面した患者さまが気軽に相談でき、安心して支援を受けられ、自分らしく治療や生活を続けるための力を支える拠点となることを目指し、患者さま一人ひとりの思い、価値観、生活背景にも寄り添いながら、支援の輪を広げてまいります。



■ 出店の背景：がん治療と生活を両立する方の「アピアランスケア」の重要性

がん治療を受けながら就労や社会参加を続ける方が増えるなか、抗がん剤治療や放射線治療の副作用による脱毛、爪の変色といった外見の変化は、患者さまの生活の質（QOL：Quality of Life）に大きく影響します。こうした悩みに寄り添うアピアランスケアを、治療を受ける病院の中で身近に相談できる環境が社会的に求められています。

京大病院では、アピアランスにおける相談対応をしているなかで、「患者さまが安心して、落ち着いて、今の状況を話しながら試着できるスペースの必要性」を感じていました。そこで、「病院とアピアランスが連携することで、患者さまが不安を一人で抱え込むことなく、必要なときに、それぞれの専門的な支援へつながる体制を整えることができれば」という両社の想いが合致し、Rashiku / Salon de Raфра のオープンが決定しました。

ヘアサロンのスタッフは全員、外部の医療接客講習を受講しており、髪のお悩みやご要望に応じた商品・サービスのご提案だけでなく、患者さまとの対話を大切にし、「心からのおもてなし」を実践します。

※1 ヘアサロンで行う「アピアランスケア」は、がんやその治療に伴う外見変化に起因する整容的支援を用いたケアに関する相談、対応を指します。病気の治療や予防を目的とするものではありません。

※2 当社が扱う商品やサービスには、病気の治療や予防の効果はありません。

※3 Rashiku では商品の販売は行いません。ヘアサロンではアピアランス商品のみを販売いたします。

ー アピアランスケアサロン Rashiku / ヘアサロン Salon de Raфра の開設に寄せて ー 京都大学医学部附属病院 緩和医療科 嶋田 和貴 准教授 メッセージ

当院には、脱毛への備え、術後下着の試着など、様々な外見の変化に関する相談が寄せられ、成人だけでなく、小児がんの患者さんに対するアピアランス支援にも取り組んできました。

「Rashiku」は、どんな方も“自分らしく”…らしくをともに支えていく場所ができたなら、という思いから、院内公募により名付けられました。年齢や生活背景を踏まえ、患者さんご家族の思いを大切にしながら、支援のあり方を考えていきたいと思います。外見の変化に伴う、言葉にしづらい思いや困りごとにも目を向けることは、その人の苦痛を和らげ、暮らしを支える緩和ケアの視点にもつながります。

Rashiku / Salon de Raфра の開設を機に、京大病院が持つ治療や患者支援の知見と、アピアランスが持つ毛髪・美容に関する専門性や経験を持ち寄り、患者さん一人ひとりの希望に沿った支援のあり方をともに考える「協創」を目指します。

■ 「Salon de Raфра 京都大学医学部附属病院店」の特長

・「Rashiku」と協力し、患者さまの心身のケアを充実

「Salon de Raфра」では、ヘアカット、ヘアカラー、パーマなどの美容施術のほか、炭酸シャワークレンジングなどリフレッシュできるメニューを提供します※4。入院患者さまはもちろん、外来患者さまやご家族、病院関係者さま、地域の方々にもご利用いただけます。ヘアケアをはじめ、外見変化におけるメイク・ネイル等※5 のアドバイスも行います。併設する「Rashiku」では、症状に合わせた支援、心身のケアなど、医療従事者の知見によるサポートを受けられます※6。「Rashiku」には、相談ブースが2か所設置されています。（ドア仕切り1室、カーテン仕切り1室）



アピアランスケアサロン
Rashiku のスペース(イメージ)

※4 予約優先。ヘアカラーの前にパッチテストをお願いしております。

※5 整容的支援のこと。コスメの販売およびメイク・ネイルに関する施術は行っておりません。

※6 予約制。「Rashiku」をご利用いただけるのは同院に通院中の外来患者さまと入院患者さまと、そのご家族です。

・プライバシーに配慮した個室の施術ブース

ヘアサロンには、個室 2 室（ドア仕切り 1 室、カーテン仕切り 1 室）を設けています。個室では施術時以外にも、周囲を気にすることなくウィッグのご試着やネイル等※5 のご相談が可能です。固定式美容椅子に加え、乗降の負担を減らせる移動式美容椅子を備えております。



施術ブース(イメージ)

・アピアランスケア商品を含む取扱点数は 400 点以上

ヘアサロンでは、医療用ウィッグ、ファッションウィッグ、前開きブラ、脱毛時帽子、水溶性ネイル、頭皮保湿ローションなど、多目的な商品を色違い含め、400 点以上取り揃えております※2。（オープン時点）



■「Salon de Rafra（サロン ドラフラ） 京都大学医学部附属病院店」概要

住 所：京都府京都市左京区聖護院川原町 54 京都大学医学部附属病院 外来棟 地下 1 階

営業時間：月曜日～金曜日 9:00～18:00（祝日営業）

定 休 日：土曜日・日曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

オープン：2026 年 11 月 2 日（月）

取扱商品：医療用ウィッグ、ファッションウィッグ、脱毛時帽子、前開きブラ、水溶性ネイル、頭皮保湿ローション、ヘアケア用品など

取扱サービス：美容サービス（ヘアカット、ヘアカラー、シャンプーなど）、アフターサービス（ウィッグのお手入れなど）、メイク・ネイルのご相談



株式会社アデランスは、「Everything for a smile(すべては笑顔のために)」をコーポレートスローガンに制定しています。海外を含むグループ会社共通の理念とし、グローバルウェルネスクンパニーとして、これからも社会に笑顔の輪を広げ、夢と感動を提供し続けていきます。